

■ カラー傾向

カードニュートラとマルチミックスをベースとするカラーグループ、キーカラーとしては、昨年のイエロー系と新たにブルー系に注目。ここ数年トレンドカラーとして強い印象を形成してきたピンク&パープルは、今年もホットカラーとして成熟したカラーパリエーションを展開している。

グレーとベージュを混ぜたような中間色のカードニュートラルは、暖かみのあるカラーやクールなカラー、素材そのもののカラーなど色味のバリエーションが増加。



エスニックでバイシシーなカラーイメージやレトロでポップな遊び心いっぱいの色遣い、ニュートラルカラーをコントラストのさし色に加えて構成。



グレイッシュ、ダルトーンのハイブリッドな色調とターコイズ、セルリアン、アクア系のクリアなブルーが空間のベース色やポイント色として表現。



ニュートラルカラーとの組み合わせがポイント。アシッド系やマリゴールド系のイエローまで、コーディネートアクセントや配色の一つとして構成される。



マゼンダやフュージャ、ライラックやラベンダーの色調で表現される深みのある豊かな色合い。またモープやスキャンカラーのようなソフトなピンクに注目。



heimtextil 2011 - 2012 PATTERN TRENDS

■ パターン傾向

具象的な「柄」の傾向はフローラル柄に代表される、手書き風、水彩、油彩など絵画的な表現、昔の壁紙の復活、民族調やレトロなモチーフによるアレンジでアップデートされている。一方抽象的な表現は、デジタルなテクニックによる緻密でグラフィカルな表現が視覚的な深みと味わいを付けている。

ヴィンテージなテキスタイルのボタニカルパターンを彷彿するようなノスタルジックな表現。オーバーサイズのモチーフにしたリ、ブラックや濃地を施してインパクトを付けている。ダイナミックなほかしやドラマチックなコントラストのある構成。



流線形のウェーブで構成されるイリュージョナルなオプティカルパターン。シンメトリーやアシンメトリーな繰り返し、遠近感、デリケートなグラフィカルタッチ、ソフトな仕上がりで空間を作る。正面から、側面から、遠、近から・視覚的な変化を与える。



東欧、中央アジアの民族的なパターンをアレンジした新しいフォークロア調。70調のレトロポップなグラフィック柄によるカラフルなコンビネーション。



デジタルプリント、フォトプリントがテクニックとして使用。フルカラーや陰影の効果で素材本来の質感、触感まで伝わる表層をしている。使い古した感、劣化、スプレーほかしなど特に有効なテクニック。

